

今回は、民生委員児童委員の3つの部会活動を紹介します。

障がい者福祉部会活動報告

※ボランティア活動



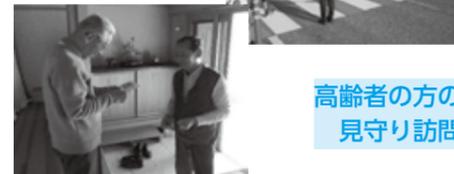
月1回作業所ボランティア

※作業所との
グランドゴルフ交流会



※見守り活動

小・中学校登校時
あいさつ運動



高齢者の方の
見守り訪問

児童福祉部会活動報告

児童福祉部会では『子育て支援拠点活動』を行っています。町内の子ども・子育てに関わる施設を訪問し、行事のお手伝いをさせていただきながら子どもたちと交流して、今の子どもたちの状況を知ったり子育ての課題を実感したりして意義のある活動です。

5月から8月にかけては、子育て支援センターあいつこの運動会ごっこや八木荘保育園の夏祭り準備、愛知川幼稚園のジャガイモ掘りとカレー作り、愛知川保育園の七夕飾り作り、秦川愛児園の夏祭り、秦川保育園の夕涼み会等のお手伝いで交流しました。



八木荘保育園での交流の様子



秦川保育園夕涼み会お手伝いの様子

どの行事からも「愛おしいこの子どもたちの未来が明るいものとなるように」と願わずにはいられませんでした。

また、部会独自の研修では、委員それぞれの得意分野を生かして学び合い、委員同士の交流を行っています。8月8日には「子どもの気持ちに寄り添う」をテーマに交流研修を行いました。



高齢者福祉部会活動報告

5月25日に豊田市足助町の福祉センター「百年草」にお伺いしました。「百年草」は旧足助町が平成2年に単なる福祉センターではなく、色々な人々が入り出し、高齢者が働ける場をあわせて作るという思いで整備された、観光と高齢者雇用および福祉が共存する複合施設です。センターにはホテル（10室）、フレンチレストラン、日帰り入浴施設、デイサービスセンターのほか、じいじがハムソーセージを作る「zizi工房」ばあばがパンを焼く「バーバラはうす」が併設されており、70歳を超えた人が今も現役で働いておられます。



▲zizi工房の様子



▲百年草の説明を受ける様子

ジェンダーバイアスと地域社会の現状

少子高齢化等による自治会役員の高齢化や役員のなり手の減少、要務の負担感の増加、自治会からの退会、老人会や子ども育成会の休会・解散等が課題となっています。地域コミュニティの崩壊に危機感を感じ、地域コミュニティを回復するために、自分は何ができるのかと模索される住民はどれくらいおられるでしょうか？

皆さんに地域の現状を伺うと、様々な地域が自治会の運営や団体の困り事があると感じられています。町のこれからの考える組織や自治会、団体の役員の大半は男性となっています。近年人手不足が問題となっていますが、なぜ女性がまちづくりや地域づくりに参画しにくいと考えられたことはありますか。

地域の女性の声

【問い】 地域づくりになぜ女性は参画されないのか、または、参画できないのか。

- 今日の家計の経済力維持は共働きが基本。さらに女性は、子育て、家事、介護と、一生を通じて負担感は大い。共働きでなくてもフルタイム業務の家庭生活で女性が自治会を担うのは難しい。
- 以前に、自治会評議員を頼まれたことがあったが、評議員会そのものが、男性の価値観で創られた組織なので、女性には難しいと感じ1年で辞退した。
- 自治会の組長会に主人が仕事で出席できないため、私が代理で出席したが、出席している女性の中にまで、「女性は反論や建設的な発言はしてはならない」「おしとやか基本」という空気が蔓延していた。
- 近年、ネット社会も進行し、地域の限定はできないが、子育てや高齢者支援等、同じ趣味や考えを持つ女性グループ等が増加していることは確かである。
- 男系社会で創られた自治会を根本的に考え直す時期ではないか。
- ジェンダーバイアス※1やジェンダーギャップ※2は、女性の人生の選択肢や可能性を拒み、剥奪にも値する。地域任せになるのではなく、行政も啓発のみでなく、改善ルールを構築してほしい。

(2023年度地域別人権学習会での意見から)



これからの地域社会は、地域人口や生産労働人口の減少により、様々な地域組織や団体も、統廃合や作り替えの必要があるのかもしれませんが。

また、上記のような女性の声から、今日までと同じ地域づくりではなく、「ダイバーシティ (Diversity) 」(多様性を意味する言葉で、人種や性別、宗教、価値観、障がいといった様々な属性をもった人たちが、組織の中で共存している状態のこと。) を遵守できる地域づくりが必要不可欠になります。

また、近年急速な労働者不足を鑑み、国の入管法も「技能実習制度」から「育成就労制度」へ変更となり、より長期の労働へ変更し、特別資格を取得すると家族で定住されることも予想されます。ダイバーシティの取組は、地域が崩壊してしまってから動き始めても難しいのではと思います。

皆さん、地域での気づきから自分たちができていることを考えてみましょう。

※1 男女の役割について固定的な観念を持つこと。

※2 男女の違いにより生じる格差のこと。